

令和2年9月24日



問い合わせ先

第一管区海上保安本部警備救難部

救難課長 藤井 大介

Tel 0134 - 27 - 0118 (内線 3250)

0134 - 27 - 6172 (執務時間外)

「救難強化巡視船等合同救助訓練」の実施について

第一管区海上保安本部では、巡視船えりも及び巡視船ほろべつに所属する潜水士の救助技術の向上を図ることを目的とした「救難強化巡視船等合同救助訓練」を次のとおり実施します。

1 日時

令和2年10月2日(金) 午前8時45分～午後4時10分

2 場所

小樽港第2埠頭11号岸壁 (別添参照)

3 訓練参加巡視船・潜潜水士

釧路海上保安部 巡視船えりも(救難強化巡視船※1) 所属潜潜水士 6名

小樽海上保安部 巡視船ほろべつ(潜水指定船※2) 所属潜潜水士 3名

4 訓練項目・スケジュール (時刻は目安)

0845～ 訓練整列

0900～1000 潜水サーキット訓練

1000～1100 要救助者搬送訓練

1100～1120 200メートル全装備ドルフィン

1330～1500 障害突破及び模擬転覆船内救出訓練

1500～1545 搜索訓練

1600～ 訓練整列、講評 (別添参照)

5 取材について

(1) 取材を希望される社は、10月1日(木)午後1時までに第一管区海上保安本部広報・地域連携室(0134-27-0118(内線2118又は2120))まで申し込んで下さい。

(2) 前記の訓練については、潜潜水士撮影のROV(水中カメラロボット)によるリアルタイム映像をモニター表示・提供予定です。また、潜潜水士のヘルメットに装着したヘッドセットカメラ映像も提供予定です。

訓練場所



救難強化巡視船と潜水指定船について

- ※ 1 **救難強化巡視船** : 潜水士が乗船し、水面下等における海難救助活動への対応能力を有することに加え、高度な救助知識及び技術を要する海難への対応能力を有する巡視船
- ※ 2 **潜水指定船** : 潜水士が乗船し、水面下等における海難救助活動への対応能力を有する巡視船



釧路海上保安部 巡視船えりも
(救難強化巡視船)



小樽海上保安部 巡視船ほろべつ
(潜水指定船)

昨年度の訓練状況

潜水サーキット訓練

下記の項目等を連続して実施し、体力及び技術力の向上を図る訓練



ホーサー（ロープ）渡過



ドルフィン（海面移動）



10Kg ウェイト運搬



ロープ登はん



飛び込み

障害突破及び模擬転覆船内救出訓練

海中で漁具等に見立てた障害物を潜り抜け、転覆船に見立てた金属製の檻内にいる要救助者を救出する訓練



模擬転覆船内救出訓練